

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル JAキッズ食農スクール

JA名 京都やましろ（京都府）

1 動機 (経緯)	次世代を担う小学生を対象に、野菜を育て、食べるまでを体験することで、食と農について考え、食べるということの意味と農業の意味を学んでいただく事を目的にJAバンクアグリ・エコサポート基金の活動助成を活用した「JAキッズ食農スクール」を実施しました。
2 概要	JAキッズ食農スクールの概要 1 (学習) 京都の農業ってなあに？ 京都の農業と地産地消について学ぶ 2 (学習) 京都の野菜を知ろう？ 地元京都を代表する野菜として「京野菜」の成立ちや種類といった基本的な知識を学ぶ 3 (学習) 「ちゃぐりん」を活用した野菜の教室 農業に対する知識として、様々な畑を学び、農家の工夫や努力を知る 4 (体験) 野菜植え体験 (ミニトマト・レタス) 植え体験を終えた後は、しっかり野菜を栽培するため、フリップを使用して野菜の育て方を学ぶ 植えさせた栽培キットを参加者が各家庭に持ち帰り、野菜の栽培・収穫から育てた野菜を食べるまでの体験をして、その栽培日記・栽培体験記録を作成していただきました
3 成果 (効果)	JAキッズ食農スクールの実績 (実施場所: 京田辺市産業祭 2014、宇治市農林まつり 2014 他各支店) 参加者数: 全10会場参加者数合計 1,200名
4 今後の 予定 (課題)	今年度においても、合併20周年記念感謝祭の中で、JAキッズ食農スクールを催す予定をしていますが、小学生の集客が課題と考えます。

